

一人一人の感染予防が冬季の流行を防ぐ



医師として、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした市の公衆衛生分野を統括しています

久留米市保健所長
内藤美智子さん

久留米市における新型コロナウイルスの感染状況の傾向と、冬にかけて流行が予想されるインフルエンザを含めた感染予防対策について、保健所長に聞きました。

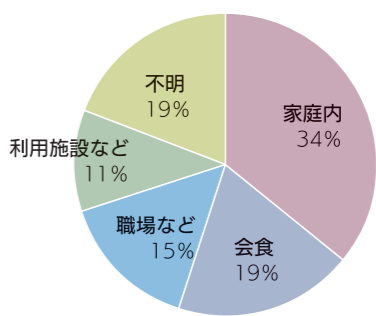
7月以降は若者中心

3月から5月にかけて最初に感染が拡大し、7月中旬から9月にかけて再度感染拡大のピークが到来しました。2回目の感染ピーク時は、当初20代が感染者の大多数に上っていました。その後幅広い世代に広がっていきました。感染経路は、家庭内が34%、会食の場が19%で、全体の50%以上を占めています。

インフルエンザの流行期

10月から3月まではインフルエンザが流行する時期です。特に12月から2月にかけて寒い時期にピークを迎えます。新型コロナウイルスとインフルエンザは症状が似ているため、判断が非常に

■感染者の感染経路 (7月以降)



難しいです。今年は一一人一人が今以上に感染予防を徹底することが大事です。重症化しやすい65歳以上の人は、無料でインフルエンザの予防接種が受けられます。ぜひ利用してください。

感染リスクを知って予防

実践型の感染予防講座も
多くのPCR検査を行うことができるよう、10月中旬から地域外来センターを2カ所増設し、全3カ所でPCR検査などを行っています。全ての医療機関ではありませんが、9月23日から順次かかりつけ医でも検査ができるようになっていきます。

新型コロナウイルスインフルエンザも感染の原因は「飛沫」と「接触」で、予防法も同じです。手洗いやマスクの着用、人との距離をできるだけ2m空ける、3密を回避するなどの基本的な感染予防を続けてください。
適度な運動や、食事による十分な栄養の他、睡眠で免疫を高めることも大事です。体調が悪いときは、無理をして学校や会社に行かず、しっかりと休んでください。
次の7つの場面は特に感染のリスクが高いといわれています。
①飲酒を伴う懇親会、②大人数や深夜におよぶ飲食、③大人数やマスクなしでの会話、④仕事後や休憩時間、⑤寮などでの集団生活、⑥閉鎖空間での激しい呼吸を伴う運動、⑦屋外活動の前後の車での移動や食事。
このような場面では、特に感染予防を意識した行動をしてください。

多くのPCR検査を行うことができるよう、10月中旬から地域外来センターを2カ所増設し、全3カ所でPCR検査などを行っています。全ての医療機関ではありませんが、9月23日から順次かかりつけ医でも検査ができるようになっていきます。
新型コロナウイルス予防と啓発のため、団体向けに手洗いの実践をはじめとした、新型コロナウイルスに関する講座も行っていきます。高齢者や障害者の入所施設には専門家を派遣。消毒方法や感染の発生が疑われる場合の対応方法など実践的なアドバイスを行います。
◎保健予防課 ☎0942・30・9730、FAX0942・30・9833



市ホームページ「新型コロナウイルス情報」へ詳しくはQRコード

各種取り組みを活用して

国や県は、アプリなどの各種取り組みを行っています。市の支援制度の申請締め切りも、再度確認をしてください。

接触確認アプリを活用して

厚生労働省は接触確認アプリ「COCOA」を開発しています。スマホの近接通信機能を利用して、過去2週間で感染者と1m以内、15分以上接触していた場合に、通知が届きます。個人情報共有されません。通知があった場合は、症状がなくてもPCR検査を受けることができます。問い合わせ先に連絡してください。



「COCOA」のロゴマーク

◎市新型コロナウイルス相談センター ☎0942・30・9335、FAX0942・30・9000

対策している店の目印に

県は、ガイドラインに沿った感染防止対策全てに取り組み企業や店に「感染防止宣言ステッカー」を発行しています。会食や宴会にはできるだけステッカーのある店を選びましょう。
◎衛生対策課 ☎0942・30・9726、FAX0942・30・9833

10月30日(土)締め切り間近

企業や事業者向けの各種支援制度の申請漏れがないよう、再度確認してください。
【新しい生活様式対応応援金】
飲食店や小売店などで消毒液の設置などの感染対策を行った事業者へ応援金を支給します。
◎事業者支援コールセンター ☎0942・30・9750、FAX0942・30・9824

【観光・MICE支援金】
感染防止対策や業態転換などに取り組む宿泊・MICE施設、タクシー、観光バス事業者に支

援金を支給します。
◎観光・国際課 ☎0942・30・9137、FAX0942・30・9707



市内の多くの店でステッカーを掲示

雇用調整助成金申請支援

国の雇用調整助成金などの申請書類作成を社会保険労務士に初めて依頼した小規模の事業者に上限10万円で全額補助します。
◎労政課 ☎0942・30・9046、FAX0942・30・9707



市ホームページ「企業・事業者向け支援」へ詳しくはQRコード

地域で頑張る皆さんに エールを送ろう

コロナ禍でも奮闘する皆さんにインタビューしました。

リモートで高校最後の文化祭

新型コロナウイルスの影響で体育祭は中止になりましたが、文化祭は生徒会や先生のサポートもあり、感染対策を行った上でなんとか開催することができました。私は体育祭のブロック長として準備を進めていましたが、中止になったため文化祭のリリーダーになりました。「ガールズコレクション」と題したファッションショーとダンス、つまようじで絵を描くつまようじアート、壁画をみんなで見ました。



三井中央高校3年 吉富朱里さん

「リモート鑑賞でしたが、思い出がまた一つ増えてうれしいです」と語る吉富さん

新型コロナウイルス対策で、今までのように、友人や家族などを招くことはできません。体育館での3密を防ぐため、収容人数も制限。各ブロックの出し物の時は、他のブロックは教室でモニター越しに鑑賞しました。本番に向けたダンス練習なども

チームごとに部屋を決め、換気を行うなど予防を徹底しました。
文化祭は、生徒同士が一致団結し、絆が深まる大事な行事です。リモートでの鑑賞や新型コロナウイルス対策を意識しながらの準備など、大変なことも数多くありましたが、多くの人の協力が無事に開催。高校生活最後の文化祭が、忘れられない思い出になりました。